

水辺の小さな自然再生 事例データベース

事例番号	1HK28	地域	北海道	記入年月	2025年3月
------	-------	----	-----	------	---------

事例名称	落差工の改良による斜路式玉石張り魚道造成									
位置情報	都道府県名	北海道	市町村名	倶知安町	緯度経度	42.947232, 140.766587	水系名	尻別川	河川名	倶登山川
取組概要	イトウ（オビラメ）復活30年計画に基づき、成長した稚魚たちが放流された川に回帰できるよう、川に数カ所ある落差工へ魚道を設置するための行政への働きかけを行い、自治体や地域住民など多くの協力を得て、倶登山川の落差工すべてに魚道が設置された。									
再生目的	生物環境	対象種	イトウ、サクラマス他							
	物理環境	連続性回復	魚道（縦断）	○	魚道（横断）	-				
		生息・生育・繁殖場造成	瀬淵	-	ワンド・たまり	-				
			二次流路	-	水際植生	-				
			攪乱	-	空隙	-				
その他	-									
開始年	2009	工法	引込み斜路式玉石張り魚道							
実施体制	実施主体	オビラメの会								
	連携者	北海道後志総合振興局								
効果	オビラメの会が（独）土木研究所自然共生研究センターと連携し、魚道の機能調査として、魚種と個体数の観測を実施。									
関連資料 URL	旧カルテ	-								
	事例集記事	-								
	現地研修会報告書	-								
参考情報 URL	https://obirame.sakura.ne.jp/newsletter/obirameNL32.pdf https://obirame.sakura.ne.jp/newsletter/obirameNL34.pdf https://www.citizen.co.jp/coy/award/awd2019_1_02.html https://obirame.sakura.ne.jp/restoration/kudosan/examinations.html									

本表は、公開情報及び関係者ヒアリングに基づき作成したものです。誤った情報、修正・更新を要する情報、新たに追加したい事例等がございましたら、（公財）リバーフロント研究所・リバロサポートセンターまでお知らせください。 Email: supportcenter@rfc.or.jp